



こたけ

議会だより

第 183 号

平成21年5月1日

■発行 小竹町議会
 福岡県鞍手郡小竹町
 TEL 09496-2-1967
 FAX 09496-2-1140
 ■編集 議会広報編集委員会
 ■印刷 マツオ印刷株式会社



小竹西小学校 入学式

(4月9日)



- ◆平成21年度当初予算 2
- ◆平成20年度補正予算 4
- ◆主な議案 5
- ◆一般質問 6
- ◆陳情・請願・意見書 8
- ◆議会が同意した人事 8

3月定例会

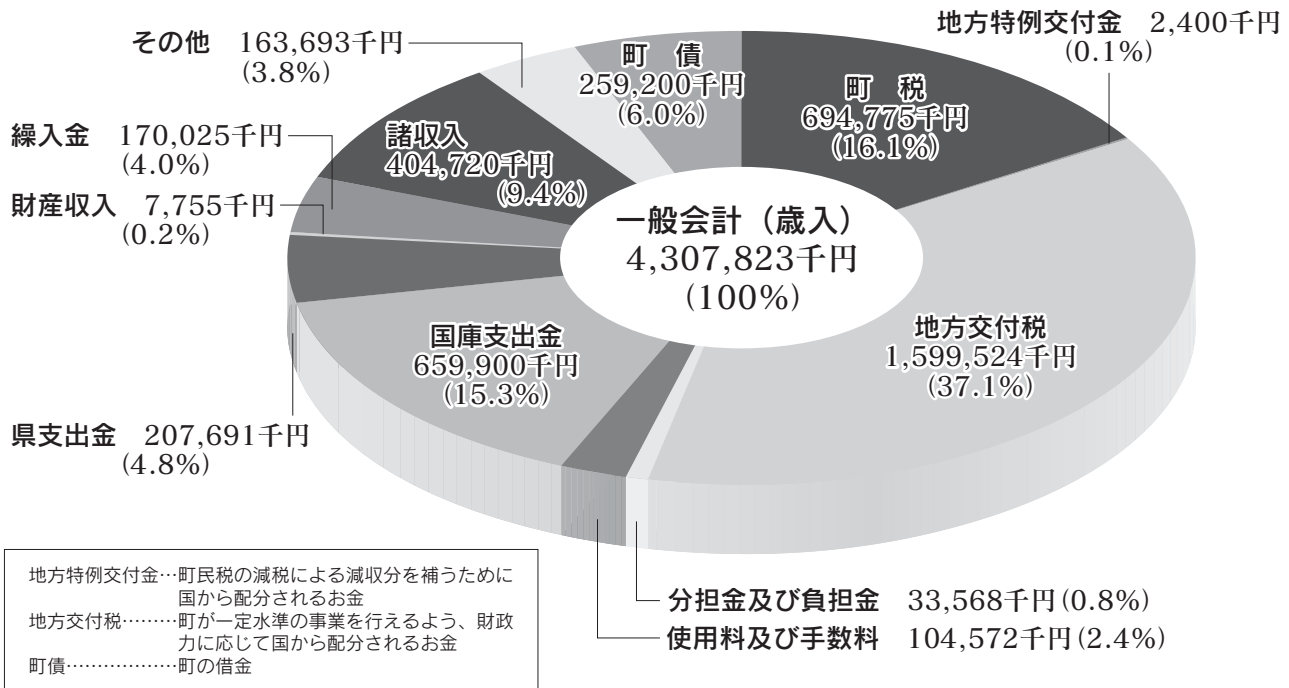
(平成21年3月5日～3月19日 15日間)

平成21年度当初予算

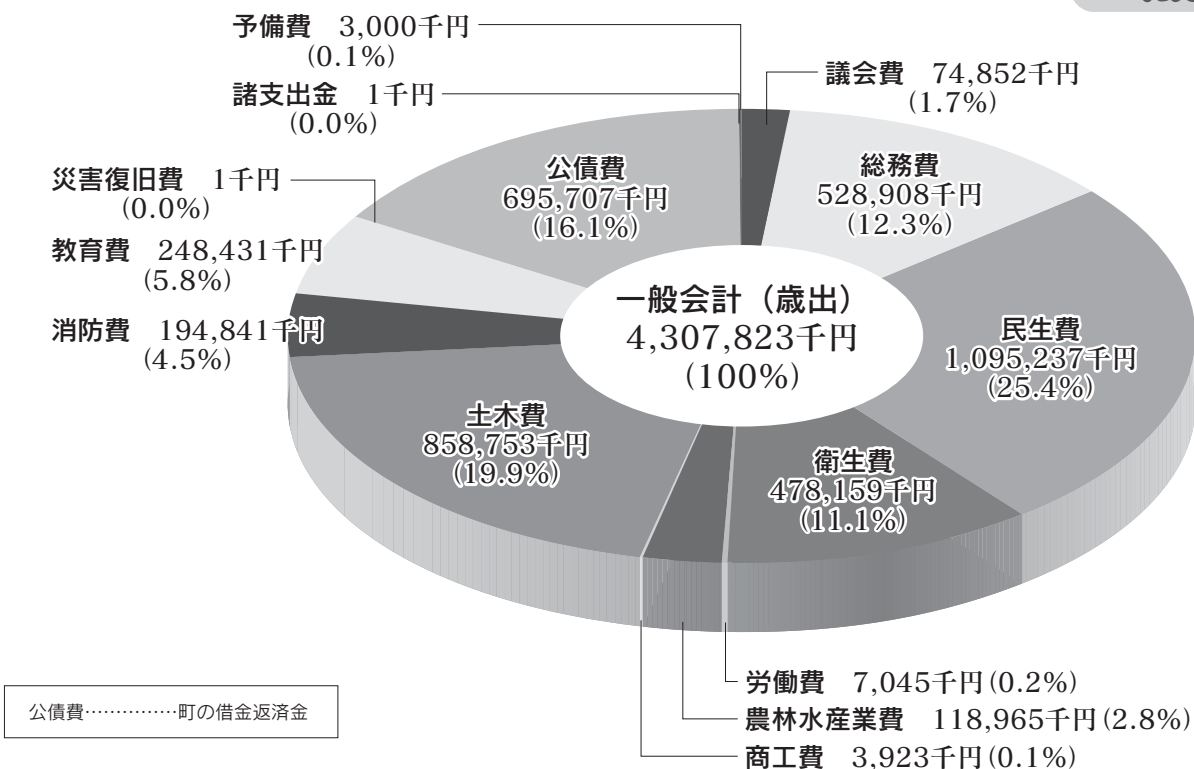
一般会計 …… 43億 782万円
 特別会計 …… 26億2,602万円
 総 額 …… 69億3,384万円



歳入



歳出



一般会計予算は、前年度に比べ0.9%の増、特別会計では8.4%の減となっています。

一方、町長の施政所信表明で、国民健康保険税の見直しを示唆するなど、新たな住民負担も生まれそうです。

今後、厳しい財政運営が予想されますが、住民の福祉や健康、安全の保持、行政サービスの低下を招かぬよう、議会での厳しいチェックが求められています。

本年度の主な事業

- 蛇牟田川改修工事
 - ・ 排水機場建設工事
 - ・ 護岸改修工事
- 庁舎別棟の解体工事及び移転新築工事
- 地域協働のまちづくり推進事業
- 町営住宅の解体工事
- 衆議院議員総選挙費
- 妊婦健診の公費負担を5回から14回へ増大
- ゴミの不法投棄防止監視カメラの設置
- 中学校体育館等の耐震対策

予算委員会の主な質疑

問 勝野・勢田線の公園整備費が計上されているが、整備後の管理はどが行うのか。

答 管理は町と地域住民の協力を得ながら行っていきたくと考えています。



整備中の公園

問 本町で、竹林を伐採し、竹粉にして堆肥化し、森林保護に取り組もうとする団体がある。昨年創設された森林環境税を活用して、補助はできないか。

答 森林環境税は、県単独の税金です。堆肥化する機械等に対する補助については、今後、県と協議を進めていきたいと思っています。



町内の竹林

問 本年度の道路維持費は、1500万円となっている。これで維持管理ができるのか。

答 財政状況をみながら、まず、路面の補修、側溝等の敷設替えを行い、最後に道路改良を行っていきます。

問 本年は衆議院議員総選挙が行われるが、第1投票所の南小学校は坂道があり、高齢者には不便である。投票率を上げるためにも、町総合福祉センターに変更できないか。

答 高齢者には大変であると思いますが、町総合福祉センターは投票所としては広さが不十分と思われます。また、開票所として最も適しているため、現状のまままでいかなるを得ないと思っています。

問 商工費に計上されている雇用促進奨励金とは。

答 本町に新規に進出した企業が、小竹在住の人を雇用した場合に、町が一定額を奨励金として交付するものです。

問 本町はゴミの不法投棄が非常に多い。今回の監視カメラの設置箇所は何箇所か。

国の緊急経済対策の緊急雇用創出事業による基金を活用してゴミの不法投棄防止を図っては。

答 監視カメラの設置箇所は1箇所です。

緊急雇用創出事業の活用については要件等を考慮し、今後検討したいと思っています。



不法投棄の状況

問 全国的に運動場の芝生化が取り上げられている。保護者等からの要望が出た場合、対応は可能か。

答 文部科学省も交付金制度で学校の芝生化に取り組んでいます。この制度は都市部の学校を対象としています。グラウンドの芝生化により安全性は増しますが、ケガを体験することで転倒を防ぐ方法を学習することもできます。グラウンドの芝生化は考えていませんが、中庭やグラウンド周辺の緑化については、既に施工済みの学校もあります。今後の緑化の推進については学校、家庭、地域の三者の協力により進めていくのが望ましいと思っています。



南小学校グラウンド

問 昨年、後期高齢者医療制度が発足したが、国保会計にどのような影響があるのか。

答 20年度予算で言うと、約2000万円が国保会計にとって負担軽減になると見込んでいます。

問 農業集落排水事業は、地元からの要請を受け、全世帯加入するということが発足したが、現在の加入率は約70%である。今後、どのように進めていくのか。

答 家庭の経済的事情等から、全世帯加入には至っていませんが、今後も加入促進に努めていきたいと思っています。

問 食料自給率の向上のため、国は、米粉に対する設備投資として2億円の補正予算を計上している。本町に米粉施設を誘致しないか。

答 米粉、飼料米などの新規需要米に取り組むには、生産者、集荷、流通事業者、加工業者、販売事業者等が連携して計画を立てることになっています。今後、市場調査を含め関係機関と協議していきたいと思います。



町民体育館ステージ

問 町民体育館のステージのどちらよう等の傷みが激しいが、張り替えの計画はないのか。

答 張り替えには多額の費用がかかるため、補修できる部分については随時行っています。

問 本町には、未整備の農道があり、機械の大型化で危険である。整備はしないのか。

答 農道の整備は、農家の方にお願ひしていますが、整備に必要な原材料の支給は考えていません。

問 燃料や飼料の高騰で、経営が危機的状況にある本町の畜産農家へ、行政として支援ができないか。

答 国は、飼料を外国に頼らず国産で対応するため、飼料米等の作付けを奨励し、補助金を出しています。

畜産農家との契約や、米の生産調整などの問題もあり、今後、検討していきます。



牛舎の様子

問 町立病院嘱託看護師の募集をしていたが、応募の状況は。また、その中の夜勤専従の応募は必要なのか。

答 交替勤務ができる常勤の希望者が3人、夜勤専従希望者が4人です。

夜勤専従の募集は、経費削減の一つとして行っています。

問 公共下水道事業は、平成24年度に供用開始となっているが、予算が少ないために工事が遅れている。供用開始までには使用料が徴収できる体制でなければならぬが、間に合うのか。

答 現在の財政状況と、組織的なものを考えると、21年度の事業量は精一杯だと思います。

24年度以降の使用料の確保のため、22年度から少しずつでも事業量を増やしていきたいと思っています。

問 水道事業の修繕料の見積りに対し、正しい判断ができる体制になっているのか。

答 修繕の必要が生じた場合、委託職員が早急に状況を判断し、上司に報告する体制をとっています。

修繕料の見積については、技術職員が検査しています。

平成20年度補正予算

一般会計	△	1,904万円
特別会計	△	1億5,737万円
総額	△	1億7,641万円



3月定例会の主な議案

3月定例会は、3月5日から3月19日まで、会期15日間の日程で開かれました。
条例案・補正予算案等の議案が提出され、審議の結果、議会は賛成多数で可決しました。

保健福祉課を再編 4月1日から

課設置条例を改正し、介護保険、後期高齢者医療制度、子育て支援等の事務の増加や健康増進施策等の確に対応するため、現在の保健福祉課を福祉課と健康増進課に再編することになりました。

主な業務内容

福祉課 (福祉係・保育所)

- ・ 介護保険
- ・ 生活保護
- ・ 児童手当・児童扶養手当
- ・ 障害者福祉
- ・ 一般福祉
- ・ 保育所

健康増進課

(保険年金係・健康対策係)

- ・ 国民健康保険
- ・ 国民年金
- ・ 後期高齢者医療
- ・ 福祉医療
- ・ 健康対策
- ・ 保健センター

ライスセンターの 指定管理者の指定

小竹町米麦共同乾燥調製施設(ライスセンター)の指定管理者に、農事組合法人南良津獅子クラブが指定されました。
指定の期間は、3年間です。

小中学校の パソコンを購入

児童・生徒のIT教育の推進を図るため、老朽化した現在の小中学校のパソコンを新しく買い換え、各学校へ設置します。

- ・ 3小学校 49台
- ・ 中学校 42台



中学校パソコン教室

町長の施政所信 表明に対する質疑

問 定住促進施策としての御徳波打地区宅地造成事業については、進展が見られない。庄内川の架橋により、宅地造成事業の意義もあるのでは。

答 波打地区の宅地造成には、庄内川の架橋を最優先に考えなければと思いますが、庄内川付近は町有地のほか飯塚市との境界線上にあり、本町としては今後も話し合いを続けていきます。

問 現在、北校区の県道右側の歩道設置が行われているが、赤地地区から鴻ノ巣橋までの歩道設置はしないのか。

答 歩道設置の計画はありませんが、この区間には、道路と民家の間が狭く、条件が厳しい場所があります。今後、技術的な検討を重ね、徐々に進めたいと思います。

問 国民健康保険税の見直しを考えているが、徴収率が近隣の市町村に比べ低いことから、見直しについては慎重を期すべきではないか。

答 徴収率向上のため、専門の人に外部委託を考えないか。

答 徴収の特別チームを組んで行ったこともあり、効果がありません。今年度も行いたいと思っています。また、国民健康保険運営協議会とも協議して徴収率向上に努めたいと思っています。

問 大牟田リサイクル発電所に関して、電力会社への売電単価の引き上げ及びRDF焼却灰処理単価の引き下げと参加自治体が増加している中で、負担金が増え下がるのか。

答 採算性の向上は図られていますが、起債の償還額が増えたことがその原因です。

問 町立病院の経営改善のため、外部有識者を含めた「小竹町行政改革推進委員会」を設置することになっているが、委員は決まっているのか。

答 また、年間1億円近くの赤字を出しているが、民間委託も視野に入れて検討するのか。

答 委員会の委員等については未定です。

本町の町立病院は危機的状況にあります。将来的には、周囲の病院のあり方を含め、地域医療という観点で考えていきたいと思っております。

そこが知りたい 一般質問



○ 全小学校で学童保育を ○ どう進める 「協働のまちづくり」

宮野 一男 議員

本町の学童保育は、安全で実施に適した教室が確保できないことや、財政的な問題から、児童館と南小学校でしか実施されていません。全小学校で実施してほしいというのが、保護者の願いだと思えます。

政府は、昨年来の不況対策として、緊急経済対策を決定しました。その中に、子育て支援策も含まれ、「安心こども基金」として、国から県に交付されるものがあります。この基金は、平成20年度から22年度末までの3年間で対象で、協議により市町村に交付されます。

財政難の本町にとって、チャンスと捉え、この基金を活用して、全小学校での学童保育を考えないか。

町長は以前から、地域コ

ミュニティの再生を掲げられています。

先日、町制施行80周年記念事業として、町民憲章を定め、その憲章碑は役場玄関横に建てられています。この町民憲章の精神が「協働のまちづくり」の基本だと思えます。しかし、このまちづくりを進めるうえで多くの課題や問題があると思えます。

以下の点について町長の考えを伺います。

● 行政が行うべき事業と地域の区別は。

● まちづくりを公平に行うための格差対策は。

● 地域で工事も出来るようになっていくが、法に基づき資力の有無と財政的援助は。

● より良い「協働のまちづくり」を進めるための条例の必要性は。

山本町長 「安心こども基金」は、放課後児童クラブを実施するために必要な、建物改修や倉庫の設置費用が必須条件であります。

放課後に児童が安全で健やかな活動場所を確保できるように各学校で実施したいと考えていますが、財政負担を伴うことから、平成21年度の早い時期に調査検討を行い、結論を出したいと思えます。

地方分権が進む中、本町が将来にわたって維持可能な町であるために、地域と行政の協力が不可欠となります。

● 地域では、地域でできる自主的な活動計画を立て、更に町全体の計画・実行・評価にも参画していただき、行政と一緒に考え、実行に移していきたいと思っています。

● 格差を生まないために18区がプランを持ち寄り、地域協働推進員連絡会議で協議していきます。

● 地域で行う工事は、用排水路の掃除と草刈、小規模な路面補修等です。資格が必要な工事は町で行います。

● 条例の制定については、町民参画のまちづくり条例、自治基本条例等の策定を視野に入れていきます。

○ 介護保険料の引下げを ○ 高齢者を差別する後期 高齢者医療制度について



広瀬 早美 議員

本町の1号被保険者が、18、19年度に支払った保険料は3億7700万円です。本町独自で運営していれば、保険料は4566万円も少ない2億8612万円ですんでいます。

広域連合に入っているばかりに、本町の1号被保険者は毎月1429円も高い保険料を払い続けてきました。今回の見直しでも、本町の保険料の基準額は6275円と181円引き下げられまし

たが、本町独自で運営していれば4744円です。つまり、今後も本来の保険料より1531円も高い保険料を払いつづけなければなりません。

不公平な保険料は、6年間で2億8336万円、一人平均で10万6560円にもなります。

広域連合は何故、保険料の減免や利用料の軽減措置を行わないのか。

要介護認定の新方式により寝たきりの状態なのに「自律」と認定される可能性があまりです。広域連合での対応は、

後期高齢者医療制度は、「年齢でいのちを線引きした」ことが最大の欠陥です。

資格証明書の取り扱いは、政府・与党で決定した運用方針の中で、「相当な収入があるにもかかわらず保険料を納めない悪質なものに限り適用する」となっていますが、「相当な収入」とは具体的に幾らくらいの収入ですか。

山本町長 保険料は、各所得段階に分かれています。

平成18年度から従来の6段階から、被保険者の負担能力に応じた所得階層にする

ために8段階制を採用して、低所得者への配慮を行っています。また、21年度から、より細かな10段階制に変更することとしています。

低所得を理由に一律に減免する制度は、結果的にその分を他の被保険者に転嫁することになるため設けていません。

低所得者の減免制度は、国の責任において実施するものと考えます。様々な機会を通じて国へ強く要望しています。

要介護認定の仕組みが4月から変更になることで、寝たきりの方が「自立」と認定されるようなことはない認識しています。

介護保険は、必要な方に必要な給付をするというのが大原則であると考えます。

折橋保健福祉課長 後期高齢者医療制度の資格証明書の適用基準となる「相当な収入」について、国は各広域連合で基準を定めるように言っています。

全国の広域連合と国とが意見交換をした際に、最終的には国が基準を決めてほしいという意見が出ています。

広域連合としては、国の方針を待っており、今のところ基準額は決まっています。

○ **児童館の活用で子育て支援を実施せよ**
○ **「赤ちゃんの駅」の設置を**



大安 美佐代 議員

交流の場を設け、その方々の支援の場、また一時預り保育や病後児保育も行えないか。

児童館に常駐する指導員の積極的な活用で、色々な計画を立てていただき、児童館の利用に関する子育て支援の協議会も設置して、大いに児童館を活用すべきでは。

「赤ちゃんの駅」の設置を提案します。本町の出生数は年間70人ほどですが、赤ちゃんはわが町の宝です。若いお母さんが乳幼児同伴で役場や中央公民館・児童館などに来られたときに、気軽にオムツの交換や授乳が行えるよう、プライベートな部屋が必要ではないかと思う。

是非、そのような場所の設置を考えるべきでは。

山本町長 児童館で行っている学童保育を各小学校に少しずつ分散して、児童館本来の機能を取り戻していきたいと考えています。

「赤ちゃんの駅」に関連するものとしては、役場の障がい者用トイレ内におむつ交換用のベビーベッドを設置しています。今後、役場内では個室などを「赤ちゃんの駅」として提供していきたいと考

えています。

また、利用促進のため、庁舎玄関にシンボルマーク入りのステッカーを設置して、サービスを求める母親には、窓口職員などに申し出てもらい、場所の案内などを行わせることとしたいと思っています。

役場庁舎のほか、中央公民館、保健センター、児童館などでも、同様のサービスが提供できるように、早い機会に実施し、民間事業者にも協力を呼びかけていきたいと思っています。



広報編集委員会行政調査 広島県坂町

1月21日～22日

広報編集委員会では、各定例会終了後、議会だよりを編集し、発行しています。十分な情報を住民の皆様に、読みやすく、わかりやすく、正確な記事をしつかり伝えられているか、また、議会としての説明責任を果たしているか等の2年間、議会だよりの編集に携わってきた考えることがよくありました。

今回、全国で優秀な議会だよりとして、表彰を受けた、広島県坂町に行政調査に行く

ことができ、いろいろと勉強しました。

坂町は広島市と呉市の中心市街地へ約20分でアクセスできる交通の利便性のよい町で、海と山の自然環境に恵まれた町でした。

本町と人口、面積、予算ともにほぼ同じ規模ですが、大きな違いは、一般会計歳入の中で、自主財源である税収が25億円と歳入総額の56・8%を占めていることです。豊かな町であることが庁舎や町並みを見ることがわかりました。

本町の議会だよりは1色印刷なのに対し、坂町ではカラー印刷なので読む人の目をひきつけるものがありました。また、ページ数も多く、記事の内容や紙面に余裕を持たせた構成はとても読みやすくてきていることに気づきました。まちの声や意見を取り上げ、紙面づくりに工夫を凝らしている事等、短い時間ではありましたが、編集の方法や課題について熱のこもった意見交換ができ、大変有意義な調査でした。

今回の行政調査で得たことを今後の編集に生かしていきたいよう努力していきたいと思

議会が同意した人事

監査委員 (再任)

嶋田 昭弘 氏



住所 勝野三三四五番地の五

(勝野1区7組)

生年月日 昭和10年1月30日



(編集委員 吉野慎一)

陳情・請願・意見書

- 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書採択の陳情……………継続審査
- 流域の安全・安心を守るため、引き続き遠賀川の管理を国で行うことを求める意見書採択の請願……………採 択
- 流域の安全・安心を守るため、引き続き遠賀川の管理を国で行うことを求める意見書……………可 決
- 社会保険病院「健康保険直方中央病院」の公的な医療機関としての存続・充実を求める意見書……………継続審査

議会を傍聴してみませんか?

傍聴場所は、役場3階議事堂内傍聴席です。また、テレビ放映は役場1階ロビー、総合福祉センターロビーで行っています。



次回の定例会は、**6月4日(木) 開会予定です。**

※事情により変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。